

# 10年後の同級会

所用時間

60分

対象

中学生以上(何人でも可能)

ねらい

○登場人物の気持ちになって、「10年後の同級会」の読み合わせをしたり、演じたりすることを通して、結婚(部落)差別を解決していくためには、当事者の強い意志だけでなく、まわりにいる人達の考え方や、ともに努力する姿勢が大切であるということがわかる。

準備

ワークシート「10年後の同級会」

## 進め方

導入

7分

- 1 参加者の人数に合わせて、「10年後の同級会」の登場人物のセリフを割り振り(分担)します。この資料では、男15人、女15人、計30人の登場人物で設定しています。
- 2 自分の担当するセリフを確認します。

展開

45分

- 3 「10年後の同級会」の朗読劇を行います。(15分)
- 4 全員で感想発表や意見交換をします。(30分)
  - ①演じてみての感想を発表します。
  - ②劇中のセリフや、やりとり等にかかわっての意見交換をします。  
(例)○気になる言葉や共感できる場面について。  
○当事者のまわりにいる人の対応について。  
○部落差別をなくしていくキーワードとなる考え方や、行動のしかたについて。
  - ③家族として、自分はどうのようであればいいか、話し合います。

振り返り

8分

- 5 学習を通して気づいたこと、感じたことを発表します。

## 留意点

○さらに問題を掘り下げて考えるために、次のドキュメンタリー資料を活用する展開も考えられます。

<啓発ビデオ> ・「ドキュメンタリー・結婚」33分【平成9年(1997年)作品】

・「ドキュメンタリー・琴美の決意」37分【平成13年(2001年)作品】

企画：長野県同和教育推進協議会 制作：信越放送(SBC)株式会社

次の場所で、啓発ビデオ、DVD等の貸し出しを行っています。

- 東信 上小 地方事務所 地域政策課 TEL(0268)25-7111
- 南信 上伊那地方事務所 地域政策課 TEL(0265)76-6800
- 中信 松本 地方事務所 地域政策課 TEL(0263)40-1902
- 北信 長野県人権啓発センター TEL(026)274-2306

## ワークシート

---

# 朗 読 劇 10年後の同級会

○この劇（台本）は、20年ほど前に長野県内のある中学校において、同和問題について学習をしたのち、部落差別がなくなることを願って、中学生と担任の先生によって作られたものです。今回、啓発資料として利用できるように修正を加えてあります。

○劇中の登場人物はすべて仮名です。

【1 さゆり】 わー、久しぶりー。

【2 みほ】 本当ねー。

【3 かず子】 中学校卒業以来、10年ぶりね。

【4 たかし】 みんな変わったなあ。

【3 かず子】 さん、美人になったんじゃないの～？

【3 かず子】 失礼ね！そんなの昔からよ。

【5 ひとみ】 そうよ、そうよ～。

…………… < 間 > ……………

【6 みのる】 え～、おおよそみんな集まったようなので、そろそろ同級会を始めたいんだけど、その前にみんなに聞いてほしいことがあります。

じつは、【7 正 雄】には、『よう子』さんという彼女がいるんだけど～……………。

【8 ゆうか】 え～、うそ～。

【9 とし男】 【7 正 雄】、おまえ、知らないうちに、この～！

【10 太 郎】 こいつ～、やったなあ～。

【11 つとむ】 おれもうかうかしてられないや。

【12 みすす】 おめでとう。

【13 まもる】 おめでとう。

【14 あき子】 おめでとう。

【15 ひとし】 結婚式に呼べよな。

【16 まなぶ】 おれ、司会やってやるぜ。

【6 みのる】 ちょっと、待ってよ。その結婚のことなんだけど。

【17 みき夫】 おい、何だよ。どうしたんだ？

【6 みのる】 じつは、ここに、困った問題がおこって、みんなに相談に乗ってもらいたくて……………。くわしくは本人から聞いてくれ。



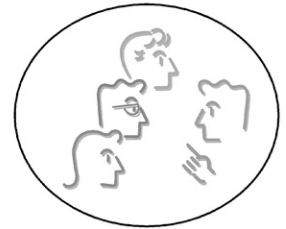
【7 正 雄】 みんな、今日は、せっかく同級会のところ悪いんだけど・・・、おれは、結婚しようと思っている『よう子』さんにプロポーズしたんだ。その時、「わたし、被差別部落の出身なんだけど・・・。」って、打ち明けられたんだ。おれは「大事な問題だから一緒に考えていこう。心配しなくていいよ。」って答えた。その後、そのことを両親に相談したら、「絶対に駄目（だめ）だ。」と言われてしまった。おれは、どうすればいいか困ってしまい、【6 みのる】に相談を持ちかけたら・・・。

【6 みのる】 それで、おれも、簡単に答えられることじゃないし、仲の良かった中学校の仲間に聞いてみたらどうかと思って、ここに集まってもらったんだ。ぜひ、みんなの意見を聞かせてくれよ。

【18 かつや】 そうか～。そんなこと、急に言われても・・・、困っちゃうなあ。難しい問題だなあ。

【19 ますと】 そうだよ～。自分にもわからないなあ。

..... < みんな困った顔 > .....



【20 勝彦】 どうなんだ、そんなに反対されているのか？

【7 正雄】 ああ。

【21 ふみか】 でも、反対されても結婚したいんでしょ！？

【7 正雄】 うん。（うなずく）

【22 千佳】 でも、親に反対されて結婚できるの？親の意見に従ったほうがいいんじゃない！？結婚って何かと親の力を借りなきゃならない時があるし、この際、親の言うとおりにしたら。

【23 あつし】 おれは、早く結婚して良かったよ。こんな問題にぶつからなくて。

【24 つよし】 そういやあ、おまえ早かったなあ。

【25 かおり】 何言ってるのよ、【23 あつし】さん！あなた、自分のことしか考えられないの。そんな人だったの！？

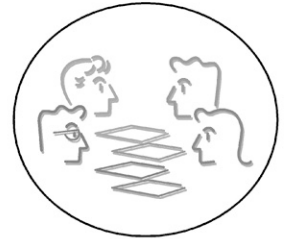
【23 あつし】 ごめん、ごめん。そんなつもりで言ったんじゃないんだ。

..... < 間 > .....

【26 みどり】 何とか、みんな【7 正雄】さんと『よう子』さんのために、力になってあげましょうよ。本当に好きなら、結婚するのが当然でしょう！被差別部落出身ということ、ぜんぜん関係ないわよ。

【27 順子】 被差別部落出身だからだめだなんて、頭から決めつけて反対する親がおかしいのよ。本人たちの気持ちを一番大事に考えてあげるべきよ。

- 【28 あさこ 】 親なんてのは、いつもまわりのことばかり気にして、勝手すぎるわよ。
- 【 4 たかし 】 おいっ、わかったようなこと言うけど、おれたちだって親になった時どうできるかは、わかんないぜ。
- 【 9 とし男 】 むずかしいよな、結婚のことって。
- 【29 理 恵 】 私はね～、相手の人が被差別部落出身であるということを気にするわけじゃないけど、やっぱり親や親戚（しんせき）に反対されると、考えちゃうかもね。
- 【19 まさと 】 あきらめたほうがいいぜ。他にもいくらでもいい子、たくさんいるんだしさ。親に認めてもらえる人と結婚したほうがいいさ。
- 【 1 さゆり 】 ちょっと、今の言い方、何よ。聞き捨てならないわね！  
本気になって考えてるの？！



…………… < みんな黙る > ……………

- 【 2 み ほ 】 かまわないじゃない。結婚すべきよ。親や親戚なんて関係ないわよ。二人の問題よ。
- 【10 太 郎 】 「差別をなくそう」と世の中では言うけれど、実際はなかなかむずかしいこともあると思う。でも、本当に二人だけでやっていけるんだったら、結婚しろよ。
- 【11 つとむ 】 【 7 正 雄 】、そんなに反対されているんだったら、家を飛び出してでも結婚したらどうだ。本気なんだろう？
- 【 3 かず子 】 でも、無理して結婚すれば、家へ帰ることができなくなるわよ。結婚してから何かと親の力を借りなきゃならない時があると思うけど、大丈夫なの？

… < 【 7 正 雄 】 黙っている。みんな、目を向ける > ……

- 【13 まもる 】 はっきりしろよ。お前は、打ち明けてくれた『 よう子 』さんの気持ちをしっかり受け止めて決めたんだろう？ ちょっと反対されただけで、簡単にあきらめるのかよ？ そんなやつだとは思わなかった。お～い、みんな、帰ろうぜ。こんなやつとつきあっている暇なんかないんだ。
- 【18 かつや 】 ちょっと、ちょっと待てよ。結婚したいと思っているからみんなに相談をもちかけてるんだぜ。

..... < 問 > .....

【16 まなぶ】 本当にその人が好きなら結婚すべきだぜ。  
おれ、賛成するぜ。

【5 ひとみ】 そんなカッコいいことばかり言わないでよ。  
私たちが二人の結婚に賛成するってことは、  
これから二人が立ち向かわなければならぬ  
問題について、一緒に受け止めていく覚悟が必要よ。



..... < 問 > .....

【17 みき夫】 結婚は、二人が愛し合っていて、合意があればできるんだ。  
憲法にもあるじゃないか。

【15 ひとし】 被差別部落出身だから結婚を許さないって、どういうわけだ？親が反対  
するからできないってそんなバカな話があるかよ。自分が愛する人といっ  
しょになるのが結婚じゃねえのかよ！それが幸せというもんだろうが。

【9 とし男】 そうだ、そうだ。おれもそう思う。

【29 理 恵】 でも、たとえ二人が幸せになったとしても、生まれてくる子どもが一番  
切ない思いをするんじゃない？親の反対を押し切って結婚したら、子ども  
がかわいそうよ。

【3 かず子】 子どもが、おじいちゃん、おばあちゃんに会えなくなるってこと？

【12 みすす】 それはおかしいわよ。【7 正 雄】 さんのご両親はそんなことを望んで  
いないでしょう？そんなおかしいこと、あつてはならないわ。みんなが不  
幸になってしまう。だから、ご両親にはもう一度よく考えてもらいましょ  
うよ。

【20 勝 彦】 おまえの両親の態度はひどすぎるぜ。結婚するのは、本人たちの意志だ  
ろうが。とんでもない話だ。

【23 あつし】 おれもそう思う。けど、なぜ【7 正 雄】の親は素直に二人を祝福して  
あげられないのかな？

【5 ひとみ】 本当は祝福してあげたいんだと思う。でも、別の心が、それをできなく  
してしまっているのね。人間の心って難しいわね……。私思うんだけど……。  
親戚の人達は、みんながみんな反対なの？

【24 つよし】 そうだよなあ。そこをしっかりと確認しておくことは大事だよなあ。おまえ  
確かめたんか？

【7 正 雄】 .....。

【21 ふみか】 何、黙ってんの？

- 【4 たかし】 おまえ、両親の猛反対があっても結婚するつもりなんだよな！？
- 【7 正 雄】 もちろんだよ。
- 【10 太 郎】 だったら、『よう子』さんの両親に応援してもらって、新しい生活を始めてはどうだ。そうすれば、【7 正 雄】のおやじさんやおふくろさんだって考え直すかもしれねえし。
- 【26 みどり】 そうよ。そうよ。私たちが盛大に祝福してあげるわよ。
- 【22 千 佳】 それは、いいけど……。でも……。現実には、そう楽にはいかないんじゃない？私たちが考えているより大変なことだと思うわ。
- 【11 つとむ】 結局、おれたちがどうのこうの言っても、最後に決めるのは【7 正 雄】だけ。

……………< しばし沈黙 >……………

- 【27 順 子】 【7 正 雄】さん、ご両親がだめだと言っても、私たちがついているから。
- 【15 ひとし】 だけど、結婚式でみんなに祝福してもらえるのはうれしいけど、俺だったら、親が出席しないのはたまらないよなあ。
- 【16 まなぶ】 親を何とか説得すべきだよ。何もしないで、二人だけの生活を選択したら、この問題から逃げることになるよ。
- 【13 まもる】 二人して逃げることで済むんだったら、同級会を開くまでもねえよ。そんな簡単な問題じゃねえよ。みんなで【7 正 雄】の家へ行って、親を説得しようぜ。なあみんな、どうだ！

… < 一瞬、間があって、お互いに顔を見合わせて > …

- 【 全 員】 そうね。(女) そうだ～(男)
- 【28 あさこ】 けれど、今一番大切なのは、まず【7 正 雄】さんが、何時間でも何日でも、いろんな方法で両親を説得することだと思う。親戚の中には協力してくれる人もいるかもしれないじゃない。
- 【29 理 恵】 私……。ずっと迷っていたんだけど、みんなの考えを聞いて、二人を応援したいと強く思うようになった。【7 正 雄】さん、親に認めてもらえるように頑張るんだよ。
- 【17 みき夫】 ダメだと言われても、あきらめるなよ。おれたちがついているからさ。なあ、みんな！



……………< みんなうなずく >……………

- 【4 たかし】 【7 正 雄】、おまえ、その気持ちをしっかりと『 よう子 』さんに伝えろよ。そして両親を説得するんだ、結婚を認めてもらえるまで。
- 【30 よし子】 みんなも知っているでしょう。私は外国の人と結婚をしたわ。初めは認めてもらえなかったけど、ついに二人の仲を認めてくれたわ。今は、好きな人と一緒になれて、本当に良かったと思っているわ。がんばってよ。
- 【24 つよし】 同じ人間だもの。いつまでも差別にとらわれているなんて、考えただけでもおかしいよ。差別がない明るい社会を、みんなで作っていかないとね。
- 【1 さゆり】 ねえ、中学校時代にクラスで、同和問題について勉強したじゃない。
- 【7 正 雄】 さんも、自分の意見をしっかり言ってたじゃないの。思い出してみて！あの時学んだことを。自信を持って、両親に言うてみるのよ。
- 【19 まさと】 自分も、中学校時代を思い出したよ。まず両親に、この問題を正しく理解してもらうことが大切だと思う。自分たちが中学校で勉強したことは何のためかという、こういう時に正しく行動できるために！だよな。うん、そうだ。
- 【20 勝 彦】 応援が必要な時は、いつでもみんなで親や親戚の人たちを説得してまわるからさ。
- 【18 かつや】 おれは、何があっても応援するぜ！がんばれよ！二人に愛があれば、どんな壁も乗り越えられるよ。
- 【6 みのる】 みんながこれだけ応援してくれるんだ。自信を持ってあたってみろよ。
- 【7 正 雄】 絶対、説得してみせるよ。時間がかかろうともがんばるよ。みんな、真剣に考えてくれて、今日は本当にありがとう。おれ、うれしかったよ。いざという時に相談に乗ってくれる友達がたくさんいてくれて、やっぱりこのクラスで良かったって、心から思うよ。
- 【6 みのる】 さあ、みんな、乾杯しようぜ～！！
- 【 全員】 お～！！

